

原発災害「復興」の影

■取り除く⑦

の高野善男(59)は漏らす。環境省出先の福島環境再生事務所には14年3月の完了は無理と何度も言った。それは同省にも伝わっているはずだが、同省は他市町村と同じ14年3月完了にこだわっていた。町は「夏頃を」とするよう国に要求、国は一度は一律賠償を認めたとが、その後、慎重な姿勢に転換したため、再編をめぐる町と国の協議は停滞。除染計画策定にも影響した。

「除染も政治なんだ」と同事務所調整官の小沢晴る。国、出先、町の

苦境に立たされている。全てそれが理由というわけではないが、住民説明などを担当するグループのリーダーに退職が目立つという。

「除染も政治なんだ」との声が聞こえてくる。国、出先、町の

国への不信感が出先に集する筒井康弘(67)は昨年6月中する中、出先の職員は本月の計画で国が14年3月完了への不信を募らせる。出たことだったことで「除染も政治なんだ」と話す。「参院選が(昨年7

計画実現 焦る環境省

町、現地事務所と温度差

「環境省は現場を分かっている」。町職員からそんな嘆きが漏れるのが聞こえた。国直轄で行われる富岡町の除染計画がまとまったのは昨年6月。計画には除染の完了時期が「2014年3月末」とある。同町はまだ部分的な先行除染が行われた程度なのに、完了まで9カ月しかなかった。

3月完了にこだわり「霞が関と町に温度差があった」。町復興推進課長

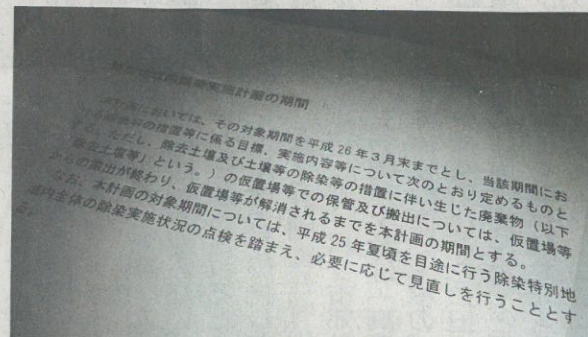
町は「夏頃を」とするよう国に要求、国は一度は一律賠償を認めたとが、その後、慎重な姿勢に転換したため、再編をめぐる町と国の協議は停滞。除染計画策定にも影響した。

「除染も政治なんだ」と同事務所調整官の小沢晴る。国、出先、町の

苦境に立たされている。全てそれが理由というわけではないが、住民説明などを担当するグループのリーダーに退職が目立つという。

「除染も政治なんだ」との声が聞こえてくる。国、出先、町の

国への不信感が出先に集する筒井康弘(67)は昨年6月中する中、出先の職員は本月の計画で国が14年3月完了への不信を募らせる。出たことだったことで「除染も政治なんだ」と話す。「参院選が(昨年7



環境省が昨年6月に示した富岡町の除染計画。町の要求で計画の見直し方針が盛り込まれた

(文中敬称略)